

# テストステロンの変動と下部尿路症状の関連性の検討に関する研究

## 1. 研究の対象

2000年4月から2022年8月までに大阪大学泌尿器科で前立腺生検を施行した患者様。また、これまでに大阪大学泌尿器科もしくはDクリニック大阪で同時期に加齢男性性腺機能低下(LOH)症候群と診断され、テストステロン補充療法を施行した患者様。

## 2. 研究目的・方法

テストステロンと排尿評価の関連性を検討する。

## 3. 研究に用いる試料・情報の種類

採血結果(PSA、テストステロンなど)、排尿状態の評価(質問紙票)、男性更年期質問票など

## 4. 研究期間

倫理委員会認定日から2027年3月31日まで

## 5. 既存情報の提供のみを行う機関 Dクリニック大阪 鈴木雄一郎

## 6. 具体的な診療情報内容

- ① 基本情報  
年齢、性別、身長(cm)、体重(kg)、BMI(kg/m<sup>2</sup>)
- ② 既往歴  
高血圧、糖尿病、脂質異常症、喫煙歴、飲酒歴
- ③ 投薬内容  
内服薬：抗血小板薬、抗凝固薬、降圧剤、利尿薬、スタチン、経口血糖降下薬、インスリン
- ④ 血液検査  
白血球数、ヘモグロビン、血小板数、尿素窒素、尿酸、クレアチニン、eGFR、CRP、PSA、テストステロンなど
- ⑤ 質問紙票  
排尿の質問紙票(IPSS:国際前立腺症状スコア、OABSS:過活動膀胱症状スコア、など)、性機能質問票(IEF:国際勃起機能スコア、など)、男性更年期障害質問票(AMS:加齢男性症状調査票、など)、QOL質問票など

## 7. 個人情報等の取扱い

本研究のために収集したアンケート調査や検査結果などの情報のうち、研究対象者を特定できる情報はすべて削除して管理する。当院からの情報もDクリニックからの情報も同様に取り扱う。

## 8. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

大阪大学大学院医学系研究科 器官制御外科学講座（泌尿器科学）

住所：大阪府吹田市山田丘 2-2

電話：06-6879-3531

福原慎一郎

研究責任者：

福原慎一郎・国立大学法人 大阪大学医学系研究科泌尿器科学・講師